

タブレットを活用したリテリングまでの一連の活動と学習評価 (SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 PROGRAM 1 Bentos Are Interesting)

①書く

①話・発

②個・表

②評価

③タブ

【ここがポイント！】

④ミライシード

①「ミライシードを活用して英文の原稿とリテリング動画を提出」

教科書のProgramの本文の内容をリテリングするために、生徒はプリントにまずメモし要約文を整理する。そして、タブレットのミライシードを活用して、英文入力をして提出する。その後、リテリングを繰り返し練習した後、ミライシードを活用して動画を提出する。

②「二次元コードを活用して音読練習」

生徒は自分のペースで教科書の二次元コードを読み取り、必要な英文の発音を何度も練習することができる。

③「提出した英文の原稿とリテリング動画を評価」

教員は、後日、タブレットに提出された原稿と動画を評価することができる。

【実践の目標】

A L Tに日本や海外の弁当文化について、“Bentos Are Interesting!”をわかりやすく伝えることができる。

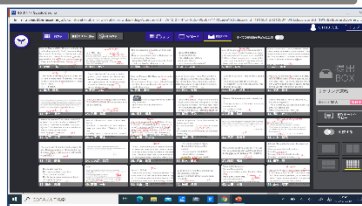
【実際の場面】

1. Program 1の内容を要約し、要約文をタブレットで英文入力をする

“Bentos Are Interesting!”の本文を要約し、教科書の絵や写真を活用してわかりやすく伝えるための原稿を作成した。タブレットでの英文入力は初めてだったため、大文字、カンマ、アポストロフィーやスペースの入力等キーボード入力の初歩的スキルを習得することができた。

2. リテリング原稿をタブレットのミライシードを活用して提出する

1分間のリテリングになるようにと伝えた。また、A L Tにわかりやすく伝えるためにどうしたらいいか考えさせながら原稿を完成させた。



3. 教科書の二次元コードを読み取り音読練習する
教科書の本文の二次元コードをタブレットから読み取り、リテリング原稿を見ながら発音やアクセント等の確認をし、音読練習をした。

4. リテリングの工夫を考える

まずは原稿を頭に入れて、間の取り方、ジェスチャー、アイコンタクトの場面を考えた。また、タブレットを通じて、教科書の写真や絵の紹介の仕方の工夫も考えた。

5. リテリング発表の練習をする

リテリングの工夫を取り入れ、タブレットのミライシードの動画機能で撮影した。自分のリテリング動画を見て、改善点を見付け、改善点を踏まえた上で何度も発表の練習をした。

6. リテリング動画を提出する

何度も練習した中で自分の一番のリテリング動画をタブレットのミライシード機能を活用して提出した。

7. 後日評価を行う

ミライシードに提出されたリテリングの原稿と動画について指導者が評価を行った。

【成果と課題】

【成果】

- ヘッドフォンセットをつけることで、自分の発音なども他人に聞かれることなく黙々と意欲的に練習し、その動画を自己評価することで達成感を感じていた。さらに、発音や表情の改善点を修正したりすることで「話すこと」の言語活動の量が増えた。
- キーボード入力などの初歩的スキルを習得し、操作も速くできるようになったり、検索機能で、表現や発音などを自分で調べたりすることができる生徒が増えた。

【課題】

- 生徒が撮影した英文や動画を評価する際に、ミライシードでは評価の時間がかかり教員側の負担が増えた部分がある。効率的にできる方法を検討する必要がある。

坂町立坂中学校

